

7. 医学系研究科

(1) 医学系研究科の教育目的と特徴	7-2
(2) 「教育の水準」の分析	7-4
分析項目Ⅰ 教育活動の状況	7-4
分析項目Ⅱ 教育成果の状況	7-9
【参考】データ分析集 指標一覧	7-11

（１）医学系研究科の教育目的と特徴

１．目的

本研究科は、地域の医療機関の先導的機関の役割を担いながら、国内外の医療機関及び教育機関や研究機関との交流や相互理解を深め、倫理観のある先端医療の研究を行う。

〔医学系研究科医科学専攻〕

先端医学・医療の学識や技術をもち、先進的・学際的・創造的な探求心と倫理観を兼ね備えた研究者及び高度専門職業人を育成する。

〔医学系研究科再生医科学専攻〕

高度な再生医科学の知識・技術のみならず生命倫理にも精通した研究者及び再生臨床医の育成を教育上の目的とする。

〔医学系研究科看護学専攻〕

看護における研究課題の探求資質をもち、倫理観や科学的思考力に裏打ちされた高度な看護を実践できる人材の育成を教育上の目的とする。

２．特徴

〔医学系研究科医科学専攻〕

入学者は、医（歯）学部卒業者並びに修士課程修了者及びそれと同等の学力を有する者である。学生中心の教育体制を確立するとともに専攻のボーダーレス化を図ることにより、高度の独創性と国際性を併せ持った医科学研究者並びに専門職業人を育成することを目指している。

５大講座を設置しており、2008年度には独立行政法人自動車事故対策機構及び社会医療法人厚生会との間で教育研究に係る連携・協力に関する協定を締結して神経統御学講座に「連携分野 脳病態解析学」を設置している。

〔医学系研究科再生医科学専攻〕

入学者は、修士課程修了者及び同等の学力を有する者である。理工系学部等の出身者に分子生物学、医用生命・情報工学、臨床医学及び社会医学の各分野で再生医科学を中心的に担うことのできる知的創造性・専門性と共に倫理性・人間性・社会性の豊かな人材を育成することを目指している。

2011年度に「循環病態学」及び「呼吸病態学」の２分野を再生医科学専攻（博士後期）から医科学専攻に移設し、再生医科学専攻（博士後期）に「循環呼吸制御学」を設置した。

〔医学系研究科看護学専攻〕

入学者は、看護系学部卒業者及びそれと同等の学力を有し、かつ、生涯を通じ専門職業人として看護学への追初心や創造性、応用性に強い意欲を持つ者である。教育課程は、臨地実践能力をもつ看護職、基礎的研究能力をもつ看護職、看護教育能力をもつ看護職を育成することを目指して編成されている。

授業科目は共通科目と専門科目で構成され、共通科目では医科学専攻が開講している科目も選択可能である。専門科目においても選択履修可能な科目を設定し、主体的に看護活動の実践・教育・研究に必要な基礎的能力を修得できるようにしている。また、現職の

岐阜大学医学系研究科

看護系職員が、働きながら看護学を探求できるように、長期履修対応や昼夜開講制などのカリキュラム編成を行っている。

※再生医科学専攻博士後期課程は、2019 年度より募集停止。

(2) 「教育の水準」の分析

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

<必須記載項目1 学位授与方針>

【基本的な記載事項】

- ・ 公表された学位授与方針（別添資料 4207-i1-1～4207-i1-2）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目2 教育課程方針>

【基本的な記載事項】

- ・ 公表された教育課程方針（別添資料（再掲）4207-i1-1～（再掲）4207-i1-2）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目3 教育課程の編成、授業科目の内容>

【基本的な記載事項】

- ・ 体系性が確認できる資料
（別添資料 4207-i3-1～4207-i3-2）
- ・ 自己点検・評価において体系性や水準に関する検証状況が確認できる資料
（別添資料 4207-i3-3）
- ・ 研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（別添資料 4207-i3-4（第12条））

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 医科学専攻において、基礎技術科目に「免疫学的解析法」を新たに開講し、不足していた免疫学系の授業科目の充実化を図った（別添資料 4207-i3-5）。[3.1]
- 看護学専攻において、共通選択科目で新たな科目「生活機能と看護」、「対人関係論」、「医療者教育学Ⅰ・Ⅱ」を開講し、幅広く学べるよう科目の充実化を

図った。[3.1]

＜必須記載項目4 授業形態、学習指導法＞

【基本的な記載事項】

- ・ 1年間の授業を行う期間が確認できる資料
(別添資料 4207-i4-1)
- ・ シラバスの全件、全項目が確認できる資料、学生便覧等関係資料
(別添資料 4207-i4-2～4207-i4-5)
- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数
(別添資料 4207-i4-6)
- ・ インターンシップの実施状況が確認できる資料
(別添資料 なし)
理由：インターンシップ実施状況等調査票に実績がなかったため。
- ・ 指標番号5、9～10（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 看護学専攻において、時間割の編成に際し2時限続きの隔週開講や土・日曜日の集中講義にするなど工夫し、社会人院生が多くの科目を同じ学期に履修できるように配慮した。[4.1]

＜必須記載項目5 履修指導、支援＞

【基本的な記載事項】

- ・ 履修指導の実施状況が確認できる資料（別添資料 4207-i5-1）
- ・ 学習相談の実施状況が確認できる資料（別添資料 4207-i5-2）
- ・ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料
(別添資料 4207-i5-3)
- ・ 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料
(別添資料 4207-i5-4)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 医科学専攻において、最高学年の学生の履修状況を確認し、修了に必要な単位(30単位)が不足している学生には、学務係担当者及び指導教員から単位修得の

岐阜大学医学系研究科 教育活動の状況

状況を説明し、シラバス等に基づき具体的な履修プランについて助言を行った。

[5.1]

- 看護学専攻において、ディプロマ・ポリシー達成度調査(2回/年)を開始し、院生の到達度を継続的に確認し指導に生かした(別添資料 4207-i5-5～4207-i5-6)。

[5.2]

<必須記載項目 6 成績評価>

【基本的な記載事項】

- ・ 成績評価基準(別添資料 4207-i6-1)
- ・ 成績評価の分布表(別添資料 4207-i6-2【非公表】)
- ・ 学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料(別添資料 4207-i6-3～4207-i6-4)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

(特になし)

<必須記載項目 7 卒業(修了)判定>

【基本的な記載事項】

- ・ 卒業又は修了の要件を定めた規定(別添資料 4207-i7-1(第25条、第28条))
- ・ 卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業(修了)判定の手順が確認できる資料
(別添資料 4207-i7-2(第46条)～4207-i7-3(第19条))
- ・ 学位論文の審査に係る手続き及び評価の基準(別添資料 4207-i7-4(第4、5、14条)～4207-i7-5)
- ・ 修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料(別添資料(再掲) 4207-i7-4、4207-i7-6～4207-i7-7)
- ・ 学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料(別添資料(再掲) 4207-i7-4(第13条)、4207-i7-8(第4～7条))

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 看護学専攻において 2016 年度から学位審査基準を見直し、採点表を導入し客

観的な評価となるよう検討した（別添資料（再掲）4207-i7-5）。[7.1]

＜必須記載項目 8 学生の受入＞

【基本的な記載事項】

- ・ 学生受入方針が確認できる資料（別添資料（再掲）4207-i1-1～（再掲）4207-i1-2）
- ・ 入学者選抜確定志願状況における志願倍率（文部科学省公表）
- ・ 入学定員充足率（別添資料 4207-i8-1）
- ・ 指標番号 1～3、6～7（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

＜選択記載項目 A 教育の国際性＞

【基本的な記載事項】

- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数
（別添資料（再掲）4207-i4-6）
- ・ 指標番号 3、5（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 医科学専攻において、大学院の国際化を目指した改革の一環として 2013 年度に医学部各分野の教員が各分野の一押しの研究内容を英語で紹介する共通科目『ADAMS (Advanced Doctor Course Alliance of Medical Science)』を開講した。本科目では英語による授業を展開し、学生の英会話能力の向上を図るとともに、英語により議論を行い、国際学会等での議論に参加できる人材の育成を目指している（別添資料 4207-iA-1）。[A.1]

＜選択記載項目 C 教育の質の保証・向上＞

【基本的な記載事項】

（特になし）

岐阜大学医学系研究科 教育活動の状況

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 看護学専攻において学生に対する授業評価アンケートを教員と共有し、授業改善に生かしている。2017年度から実施のディプロマ・ポリシー達成度調査結果も指導教員と共有し指導内容に生かしている（別添資料 4207-iC-1～4207-iC-4）。

<選択記載項目D リカレント教育の推進>

【基本的な記載事項】

- ・ リカレント教育の推進に寄与するプログラムが公開されている刊行物、ウェブサイト等の該当箇所（別添資料 4207-iD-1）
- ・ 指標番号2、4（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 2019年度に2020年度設置が認可された「医療者教育学専攻（修士課程）」において、グローバルな視野とローカルな視点から医療の質向上に寄与する医療者教育を展開するため、多職種の人材と連携し、医療者教育を設計・実践・改善・先導・発信できるリーダーを育成していく予定である（別添資料 4207-iD-2）。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

＜必須記載項目 1 卒業（修了）率、資格取得等＞

【基本的な記載事項】

- ・ 標準修業年限内卒業（修了）率（別添資料 4207-ii1-1）
- ・ 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（別添資料（再掲）4207-ii1-1）
- ・ 博士の学位授与数（課程博士のみ）（入力データ集）
- ・ 指標番号 14～20（データ分析集）
- ・ 医学課程卒業者の医師国家試験合格率（厚生労働省公表）
- ・ 歯学課程卒業者の歯科医師国家試験合格率（厚生労働省公表）
- ・ 薬学課程卒業者の薬剤師国家試験合格率（厚生労働省公表）
- ・ 看護学課程卒業者の看護師国家試験合格率（厚生労働省公表）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 修了時の看護学専攻の院生にもディプロマ・ポリシー達成度調査を実施し、修了時の自己評価を実施している。[1.0]

＜必須記載項目 2 就職、進学＞

【基本的な記載事項】

- ・ 指標番号 21～24（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

＜選択記載項目 A 卒業（修了）時の学生からの意見聴取＞

【基本的な記載事項】

- ・ 学生からの意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料
（別添資料 4207-iiA-1～4207-iiA-2）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<選択記載項目 C 就職先等からの意見聴取>

【基本的な記載事項】

- ・ 就職先や進学先等の関係者への意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料
(別添資料 4207-iiC-1 (P.7、11、12) 【非公表】)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

(特になし)

【参考】データ分析集 指標一覧

区分	指標 番号	データ・指標	指標の計算式
1. 学生入学・在籍 状況データ	1	女性学生の割合	女性学生数／学生数
	2	社会人学生の割合	社会人学生数／学生数
	3	留学生の割合	留学生数／学生数
	4	正規課程学生に対する 科目等履修生等の比率	科目等履修生等数／学生数
	5	海外派遣率	海外派遣学生数／学生数
	6	受験者倍率	受験者数／募集人員
	7	入学定員充足率	入学者数／入学定員
	8	学部生に対する大学院生の比率	大学院生総数／学部学生総数
2. 教職員データ	9	専任教員あたりの学生数	学生数／専任教員数
	10	専任教員に占める女性専任教員の割合	女性専任教員数／専任教員数
	11	本務教員あたりの研究員数	研究員数／本務教員数
	12	本務教員総数あたり職員総数	職員総数／本務教員総数
	13	本務教員総数あたり職員総数 (常勤、常勤以外別)	職員総数(常勤)／本務教員総数 職員総数(常勤以外)／本務教員総数
3. 進級・卒業 データ	14	留年率	留年者数／学生数
	15	退学率	退学者・除籍者数／学生数
	16	休学率	休学者数／学生数
	17	卒業・修了者のうち標準修業年限内卒業・修了率	標準修業年限内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	18	卒業・修了者のうち標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率	標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	19	受験者数に対する資格取得率	合格者数／受験者数
	20	卒業・修了者数に対する資格取得率	合格者数／卒業・修了者数
	21	進学率	進学者数／卒業・修了者数
	22	卒業・修了者に占める就職者の割合	就職者数／卒業・修了者数
4. 卒業後の進路 データ	23	職業別就職率	職業区分別就職者数／就職者数合計
	24	産業別就職率	産業区分別就職者数／就職者数合計

※ 部分の指標（指標番号8、12～13）については、国立大学全体の指標のため、学部・研究科等ごとの現況調査表の指標には活用しません。